



三菱電機パッケージエアコン別売部品 室外機用凍結防止ヒータ 据付工事説明書

※据付け前に本説明書をよくお読みください。

別売形名	適用機種
PAC-SJ30BH (200V, 150W)	室外ユニット用 インバーターLシリーズ

据付けの前に

- 本製品は、厳冬期での室外ユニット熱交換器下部に発生する根氷の抑制対策およびドレン抜穴の氷結による詰り防止を目的としたものです。
- 降雪の多い地域でご使用の際は、防雪ダクトを併設してください。
- ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンノットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または財産・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事され不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
- 当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニット落下によるケガの原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。
- 接続や固定が不完全の場合や、途中接続の場合は、発熱・火災等の原因になります。
- 据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 電気工事は電気工士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」およびこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。
- 電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災等の原因になります。
- 室外ユニットのサービスパネルを確実に取付ける。
- サービスパネルの取付けに不備があると、ほこり・水等により、感電・火災等の原因になります。

注意

- 可燃性ガスの発生・流入・漏洩・漏れのおそれがある場所へは据付けしないでください。
- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
- 電源には必ず漏電遮断器を取付ける。
- 漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。
- アース工を行う。
- 電源には必ず漏電遮断器を取付ける。
- 漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。

1. 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、取付け前にご確認ください。

①ベースヒータ	②ヒータ固定金具	③固定ネジ	④バンド	⑤外気温度センサー
1set	2個	(4×10)	1本	1set
⑥ベースヒータ制御部本体	⑦ドレンカバー	⑧アルミテープ	⑨ファスナー	
1set	5個	5枚	5本	

2. 取付準備

- ベースヒータの組み込みは室外ユニットを据付ける前に行ってください。
- 室外ユニット本体の元電源が、OFFであることを必ず確認してください。
- ベースヒータ取付の為、多くのネジを取外します。紛失しないようにしてください。
- ホコリ、ゴミ等の除去を十分に行ってください。

3. ベースヒータ組込準備

- 次の手順で右図に基づき各々の部品をユニットから取外し、ヒータの組込準備を行います。
- ①サービスパネルの取外し
前側3本のネジを取外した後、パネルを下方にスライドさせてから取外す。
 - ②トップパネルの取外し(取外したトップパネルは使用しません)
前側2本、後側3本の各ネジを取外した後、上側に持ち上げて取外す。
 - ③カバーパネルの取外し
カバーパネルのネジを取外す。
 - ④フロントパネルの取外し
前面7本のネジを取外した後、フロントパネルを上方にスライドさせてから前側に引き取外す。
 - ⑤ファンの取外し
ファンの固定ネジを取外し前側に引き出し取外す。
 - ⑥モーターサポートの取外し
ファンモーターのコネクターを取外した後、モーターサポート固定ネジ2本を取外し、全体を斜め前方に持ち上げ取外す。

4. ドレンカバーの取付け

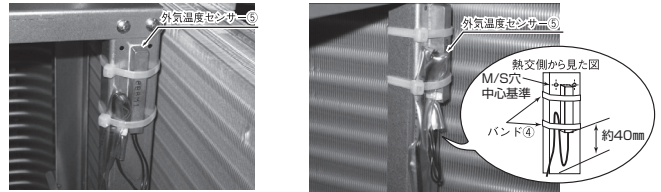
- 熱交換器下部のドレン穴部にドレンカバー⑦を、図示方向に向けドレン穴を覆います。
- ドレンカバーは、下図のようにアルミテープ⑧で固定し、計5ヶ所のドレン穴について作業を行ってください。
- ※ドレンカバーの穴部が奥側(熱交換器下側)に向いている位置であることを必ず確認してから確実に固定してください。

5. ベースヒータの取付け

- モーターサポートの角穴部中心にベースヒータ①を仮置きしてください。(下図参照)
- ヒータ固定金具②と固定ネジ③で、ベースヒータ①を固定してください。

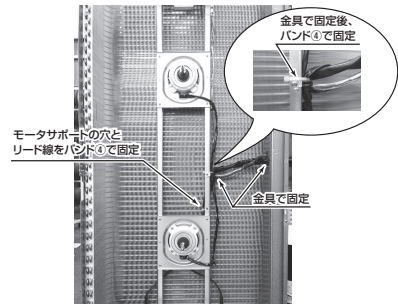
6. 外気温度センサーの取付け

- 外気温度センサー⑤の感知部に貼付けの両面テープ離れ紙をはきし、図に示すモーターサポート上部に、リード線を下方に向け固定してください。
- 外気温度センサーのリード線を、約40mmの位置でU曲げし、上下2ヶ所をバンド④で固定してください。なお、下側のバンド④は外気温度センサーリード線と一緒に固定してください。



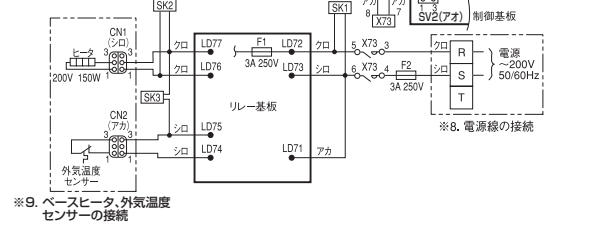
7. 各リード線の固定

- ベースヒータリード線を、モーターサポートの写真の位置にバンド④で固定して、外気温度センサー⑤とファンモーターのリード線と一緒に固定金具で結束し、セパレーターの丸穴から機械室に引き込んでください。



☆電気配線図

右配線図を参考に8～9の作業(リード線接続作業)を行ってください。



8. 電源線の接続

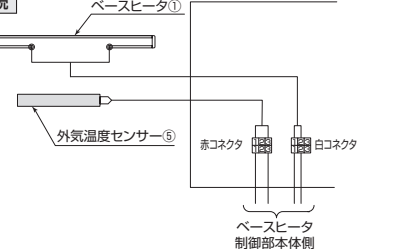
- ベースヒータ制御部本体⑥リード線からの電源線(黒色、白色)をそれぞれ室外ユニット電源端子台R,S相に既設の端子と共締めしてください。
- ※端子の向きは、必ず図のように取付けてください。

警告

端子の取付けは、緩みのないように確実に締付けください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

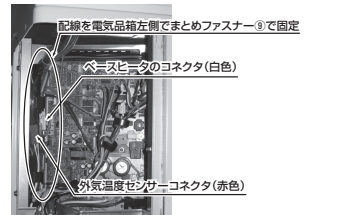
9. ベースヒータ、外気温度センサーの接続

- 各製品のリード線端子の色とベースヒータ制御部本体⑥から出る同じ色のリード線端子を電気品箱内で接続してください。



10. 各リード線の固定

- 各リード線の接続後に、ファスナー⑨を使い固定してください。なお、本別売で使用したリード線については、全ての機種に対応出来る長さの設定になっておりますので、場合によっては余る場合がありますが、適宜リード線を束ね電気品箱内に収めてください。
- 各リード線の端子およびコネクター部は、必ず電気品箱内へ収めてください。



11. 再組立

- 以上のようにベースヒータの取付および電気配線の接続が確実に行われていることを必ず確認してください。取外した各々の部品を分解時の逆手順で取付けてください。
- ※プロペラファンは必ず5.7±0.3N・m(57±3kg・cm)のトルクで締付けください。

警告

室外ユニットの外装パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。